



Fundamentals of English Composition through Living Grammar

文法から入る英作文基礎演習

Shukei Funada and Juliet D.Erickson

EIHŌSHA

Fundamentals of English Composition
through Living Grammar

文法から入る英作文基礎演習

Shukei Funada
Juliet D. Erickson

EIHŌSHA

◆ はじめに ◆

「日本人は文法ばかりやっているから英語が話せない」という誤った意見をいまだに述べる人、また、それを頑なに信じている人は依然として後を絶ちません。

その理由は、このような人たちは、『「文法ばかりやっている」の中身が、受験用の問題集を仕方無しに解いている程度では、とても英語を使いこなすことはできない』『知的レベルの高い内容の英文を理解し、また話したり書いたりするには、英文法をしっかりと勉強していなければ到底無理である』ということすら分かっていないからです。

「文法ばかりやってきた」という人は、基礎的な語法を扱った次の英文の意味の違いが分かるでしょうか。

- (a1) I'll come to the barbecue party.
- (a2) I'll be coming to the barbecue party.
- (b1) You must quit drinking alcohol.
- (b2) You have to quit drinking alcohol.

これらは基礎的な英文法です。頭の中で機械的に「バーベキュー・パーティーに行くでしょう」「酒をやめなければならぬ」と置き換えているだけでは、相手の言うことが理解できないばかりか、自分の伝えたい意味を正確に表現することは不可能です。

「日本人は文法ばかりやっているから英語が話せない」のではなく、「文法すらやっていないから話せない」のが実情であることに早く気づいてほしいと思います。

本書は、半期間の授業回数に合わせて、全 15 ユニットとしました。基本的な文法事項を確認したあと、英作文に加えてディクテーションにチャレンジすることによって、英文を聞いてすぐに理解できる力も養うことができるようになっていきますから、リスニング力もアップできます。

さらに、本書は、『書く英語基礎編・応用編・実用編』（松本亨著、パイインターナショナル）より、一部の英文を採録させていただきました（パイインターナショナルより了承済み）。これによって、多くの実用的な英文に触れることができるでしょう。

また、英語の学習方法については、『英語と日本人～なぜ英語ができない～』（パイインターナショナル）を、すぐに使える生きた英語表現については、『迷わず話せる英会話フレーズ集』（駿河台出版社）を是非参考にしてください。

最後に本書の作成にお力添えいただいた、編集部の宇治正夫さんに心から感謝の意を述べたいと思います。

船田秀佳

CONTENTS

はじめに	iii
Unit 1 基本文型 (I)	3
Unit 2 基本文型 (II)	9
Unit 3 主語の明示化 / 命令文	14
Unit 4 名詞 / 冠詞	19
Unit 5 助動詞	24
Unit 6 疑問文	29
Unit 7 比較	34
Unit 8 進行形 / 未来形	39
Unit 9 完了形	44
Unit 10 不定詞 / 動名詞	49
Unit 11 受動態 / “It” 構文	54
Unit 12 接続詞 (I)	59
Unit 13 接続詞 (II)	64
Unit 14 関係代名詞 / 関係副詞	69
Unit 15 仮定法	74

Unit

1

基本文型 I

学習のポイント

1
CD

英語の基本5文型の不備を補うために現在では、A(副詞類)を加えて7文型が普通です。以下では基本7文型という考え方に沿って英語を捉えてみましょう。

1 副詞類

☆ 副詞類とは、文にとって欠くことのできない情報にもかかわらず、基本5文型では取りあげられてこなかった要素です。以下の例文で見ましょう。

<1> My cat is missing. (猫がいなくなりました)

<2> My uncle lives in Beijing. (私の叔父は北京に住んでいます)

基本5文型の考え方では、どちらの文もS(主語)+V(動詞)の第1文型になってしまいます。<2>の下線部を「住んでいる場所を説明する修飾語にすぎない」とするのではなく、文の重要な要素として考えるのが今では一般的です。

2 副詞類を加えた文型 <I>

<1> S + V (主語+動詞)

The rain (S) is falling (V). (雨が降っています)

You (S) lose (V). (君の負けだよ)

<2> S + V + A (主語+動詞+副詞類)

The toy department (S) is (V) on the tenth floor (A).

(おもちゃ売り場は10階にあります)

I (S) go (V) to Yale University (A). (私はエール大学に通っています)

<3> S + V + C (主語+動詞+補語)

It (S) is (V) a can opener (C). (それは缶切りです)

The soup (S) tastes (V) good (C). (そのスープはおいしいです)

<4> S + V + C + A (主語+動詞+補語+副詞類)

I (S) am (V) free (C) on Sunday (A). (日曜日はいいています)

I (S) feel (V) fine (C) this morning (A). (今朝は気分がいいです)

<5> S + V + O (主語+動詞+目的語)

He (S) is having (V) dinner (O). (彼はディナーを食べています)

I (S) have (V) three American friends (O).

(私にはアメリカ人の友達が3人います)

<6> S + V + O + A (主語+動詞+目的語+副詞類)

She (S) put (V) the shopping bag (O) on the table (A).

(彼女は買物袋をテーブルの上に置きました)

I (S) have (V) ten dollars (O) in my pocket (A).

(私はポケットに10ドル持っています)

PRACTICE



日本語の意味になるように空所を補充しなさい。



1. 私の叔母はMITの卒業生です。

() () () a () of MIT.

2. 私は疲れていますが、眠たくはありません。

I am (), () I am () ().

3. 彼は物理と化学が得意です。

He () good at () () ().

4. 彼女は10分前までこの部屋にいました。

She () in () room () ten () ago.

5. 彼は会議の間ずっと黙っていました。

He () () throughout the ().



日本語の意味になるように、選択肢の中から適語を選び、必要に応じて語形を変えて空所を補充しなさい。



- 私は週3回車通学です。
I () to school three () a week.
- ワトソン夫妻には先週女の子が生まれました。
Mr. and Mrs. Watson () a () girl last week.
- 彼はとても早くお金を使ってしまう。
He () his () very quickly.
- そのコックは今朝ケーキを10個焼きました。
The cook () ten () this morning.
- 彼らは1984年から1992年までシカゴに住んでいました。
They () in Chicago () 1984 to 1992.

cake, from, baby, money, time, spend, have, live, drive, bake



日本語の意味になるように語句をならべかえなさい。
(大文字で始まる語句が最初に来ます)



- 私は近くのスーパーで、リンゴとカキとメロンを買いました。
(and, nearby, apples, melons, persimmons, supermarket, bought, the, I, at)

2. ジョンソンさんはきのうカナダへ出発しましたが、スミスさんは日本へ戻る途中です。

(Canada, Japan, Mr. Johnson, Mr. Smith, for, on, to, back, left, is, his way, yesterday, but)

3. 大英博物館はラッセルスクウェア駅にとっても近いです。

(Russell Square Station, British Museum, close, to, The, very, is)

4. 彼は将来世界的に有名なバイオリニストになるでしょう。

(world-famous, become, the, a, future, violinist, in, will, He)

5. 私はたいてい昼食は学食でカレーです。

(have, school, curry and rice, lunch, usually, at, for, the, cafeteria, I)



CDを聞いて空所を補充しなさい。



1. 手足が冷たいですね。大丈夫ですか。

Your () and () () cold. Are you all ()?

2. 仕事で英語を使う機会がありますか。

Do you () any () to () English at ()?

3. 私の祖母は 98 歳ですが、まだ活動的です。

My () is ninety-eight years old, () she is
() ().

4. アトランチック航空は先月従業員を 250 人リストラしました。

Atlantic Airlines () () 250 ()
() month.

5. 私のオフィスは SK ビルの 8 階にあります。

My office () () the () ()
of the SK Building.



CD を聞いて英文を書き取りなさい。



1. ひょっとしてあなたはパソコンおたくですか。

2. クリストファー・コロンブスは 1492 年にアメリカを発見しました。

3. エンパイアー・ステート・ビルの郵便番号は NY10118 です。

4. フランスは農業では自給自足の国です。

5. このチェリーワインは味がいいですか。

6. カエデの葉はいつ赤くなりますか。

7. 上海では今月 23 の会社が倒産しました。

8. ヤンキースのピッチャーは、松井に満塁ホームランを打たれて自制心をなくしました。

Unit

2

基本文型 II

学習のポイント

7
CD

基本5文型では、第4、第5文型扱いだった文型にも副詞類を加えて見ていきましょう。また、知覚動詞と使役動詞についても文型という点から考えてみます。

1 副詞類を加えた文型〈II〉

〈1〉 S + V + O + O (主語+動詞+間接目的語+直接目的語)

He (S) showed (V) me (O) his pictures (O).

(彼は私に写真を見せてくれました)

My mother (S) bought (V) me (O) a blouse (O).

(母は私にブラウスを買ってくれました)

☆ My mother bought a blouse for me. と書き換えれば SVOA の文型になります。
give, hand, send, tell などは “to” を用いて書き換えますが、buy, make, find, choose, cook, sing などは “for” を使います。

〈2〉 S + V + O + O + A (主語+動詞+間接目的語+直接目的語+副詞類)

He (S) gave (V) me (O) a call (O) this morning (A).

(彼は今朝私に電話をくれました)

Mr. Brown (S) teaches (V) us (O) English (O) at school (A).

(私たちは学校でブラウン先生に英語を教えてもらっています)

〈3〉 S + V + O + C (主語+動詞+目的語+補語)

The news (S) made (V) us (O) happy (C).

(その知らせを聞いて私たちはうれしくなりました)

We (S) call (V) him (O) Jimmy (C).

(私たちは彼をジミーと呼んでいます)

<4> S + V + O + C + A (主語+動詞+目的語+補語+副詞類)

I (S) kept (V) the door (O) locked (C) last night (A).
(私は昨夜はドアに鍵をかけたままにしておきました)

We (S) elected (V) him (O) chairperson (C) in the meeting (A).
(私たちは会議で彼を議長に選びました)

2 知覚動詞と使役動詞

☆ 知覚動詞と使役動詞は、“S + V + O + [動詞の原型/動詞 + ing] + (A)”
の文型として覚えておくと応用がききます。

We noticed her come out of the building.

(私たちは彼女がビルから出てくるのに気づきました)

I saw him playing tennis yesterday.

(私は彼がきのうテニスをしているのを見ました)

She made me do the dishes. (彼女は私に皿洗いをさせました)

PRACTICE



日本語の意味になるように空所を補充しなさい。



1. ジャックに風邪をうつされたので、ジョンにうつしちゃいました。
Jack () me his (), and I () it
() John.
2. 彼は親切にもタクシーを呼んでくれました。
() kindly () () a ().
3. 私は彼に2、3の質問をしました。
() asked () () couple () questions.
4. あなたはその少年が道を横切るのを見ましたか。
Did you () the () () the ()?
5. 友達が新居に引っ越すのを手伝ってくれました。
() friends () me () into my () house.



日本語の意味になるように、選択肢の中から適語を選び、必要に応じて語形を変えて空所を補充しなさい。



- その毛皮のコートは 15 万円しました。
The fur coat () () 150,000 yen.
- 父は私に車を運転させてくれません。
My father never () me () his car.
- その小説は面白いですか。
Do you () the novel ()?
- 彼女は私を 30 分待たせました。
She () me () for half an hour.
- その骨董店のオーナーは、奈良時代の古い地図を私たちに見せてくれました。
The owner of the antique shop () () the old map of the Nara era.

we, I, show, find, keep, let, cost, drive, wait, interest



日本語の意味になるように語句をならべかえなさい。
(大文字で始まる語句が最初に来ます)



- 恋人はいつも誕生日に花をくれます。
(gives, my, boyfriend, flowers, on, me, always, birthday, My)

- 私は彼に名前と住所を教えました。
(him, name, I, and, my, told, address)

3. 彼は私たちに、バンフに素敵な別荘を見つけられました。
(second-house, a, found, Banff, nice, in, us, He)

4. 私は彼女がここからあの岩まで跳ぶのを見ました。
(her, that, I, jump, here, to, from, watched, rock)

5. 娘は私に水を1杯持ってきてくれました。
(brought, me, My, a, of, water, daughter, glass)



CDを聞いて空所を補充しなさい。



1. ジョーンズはランナーにタッチしそこねましたが、審判はアウトにしました。
Jones () () the runner, but the ()
() it out.
2. 彼は10章を要約してくれました。
He () () a () of () 10.
3. 彼は私に靴を買ってくれました。
He () () a () of ().
4. スーツケースを運ぶのを手伝ってあげましょう。
() me () you () your ().
5. 私は母に美味しいディナーを料理してあげました。
I () my () a () ().



CDを聞いて英文を書き取りなさい。



1. ガソリンスタンドの店員は、私たちにマイアミへの近道を教えてくれました。

2. 私たちは彼がイタリア語でスピーチの練習をしているのを聞きました。

3. 私は秘書に手紙を校正させました。

4. すぐにワードの文書を3つ送ります。

5. あなたは私の夫がマージャンをしているのを見ましたか。

6. 彼は今朝学校まで車に乗せてくれました。

7. 彼は私たちに契約について間違った情報をくれました。

8. 何かお飲み物をお持ちしましょうか。

英語は日本語と異なり主語を明示する程度が高い言語です。日本語を英語にするとき何を主語にしたらよいのか考えてみましょう。また、命令文は相手に対して使われる文ですから、“You” が用いられていない形が普通です。

1 主語の明示化

☆ 日本語では主語が明示されていなくても、英語では明示する必要があります。

- これは新車です。4ドアです。
This is a new car. It has four doors.
- 視力はいいですか。
Do you have good eyesight?
- 「なるほど」は英語ではどう言いますか。
How do you say “naruhodo” in English?
- お願いがあるんですけど。
Can I ask you a favor?
- 残念ですけどそろそろ失礼します。
I'm afraid I must say good-bye now.
- 中国ではクリスマスを祝うのかしら。
I wonder if they celebrate Christmas in China.

2 命令文

☆ 主語の“You”を省いて動詞を文頭に置きます。

Watch your step. (足元に気をつけなさい)

Fire! (発砲しろ/撃て) ◆! を文尾に置くと強調した言い方になる。